

～地元企業が耕作放棄地を再生してサツマイモを栽培し「うなぎいも」ブランドとして6次産業化に取り組む～

静岡県浜松市

取組主体: 有限会社 コスモグリーン庭好

取組開始時期: 平成21年

解消面積: 9.5ha(平成27年4月時点)

導入作物: サツマイモ

1. 取組のきっかけ・経緯

取組主体の本業は造園業であるが、このほか剪定枝や刈草の廃棄物処理業を行っており、破碎して堆肥化するリサイクル処理をしている。この堆肥を利用した地域貢献を目的に農業に参入した。

2. 取組内容

栽培品目は様々な品目を試し、耕作放棄地でも栽培が容易であるサツマイモを選定した。

初めての取組のため技術が未熟だったこと、ほ場が耕作放棄地であったこともあり、生食用に出荷できない芋が少なからず発生したため、加工品開発に取り組むべく、農林水産省の6次産業化法認定を受けて、補助金を活用しペースト加工施設を設置した。規格外の芋を加工に向けることで、すべての芋を活用できるようになった。

また、草木の廃棄物とともにウナギの残渣を堆肥化して栽培したサツマイモを「うなぎいも」とネーミングし、「うなぎいも」という地域ブランド化を図り、平成25年5月には、生産者が出資して「うなぎいも協同組合」を設立した。正会員の組合員は40人、賛助会員は20社、栽培面積17ha、関連商品30種類、関連商品の売上は5億円程になっている。多くの組合員が耕作放棄地を再生して「うなぎいも」の生産に取り組んでいる。

3. 今後の課題・予定など

組合員の8割が新規就農の企業や個人であり、新規就農者の受け皿となっているほか、耕作放棄地の再生・活用にも寄与している。また、生産者のみならず、加工業者、流通、販売、包材、広告など様々な業種がチームを作り活動している。

また、自社ではペーストを利用してプリンを製造・販売しており、平成23年度ふじのくに新商品セレクション金賞を受賞しており、ヒット商品となっている。今年度は、しずおか農林水産物認証を取得し、安全安心な農産物栽培やブランド力向上に力を入れている。

4. 活用した補助事業

(国) 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容: H22～26年度、4.5ha、再生作業、施設等補完整備)

(国) 6次産業化推進整備事業(補助内容: H23年度、農業主導タイプ)

(県) 耕作放棄地放棄地緊急解消促進事業費助成(補助内容: H22～26年度、再生作業)

(市) 耕作放棄地再生対策事業費交付金(補助内容: H22～26年度、再生作業)



再生前



再生後